

## 2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 90914 単位数 : 2

科目名	カリキュラム論	科目責任者	牛田 伸一
課題と試験担当教員	鈴木 朋実		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC259		

## ■ 科目概要

この科目は、学校におけるさまざまな活動の計画であり、学校運営の基本をなしている教育課程（=カリキュラム）について学習するものです。

学校の生活は、教育課程にしたがって営まれています。それは、教育課程が、教育－学習活動のあり方を規定し、子どもの能力形成や人格発達に重大な影響を及ぼしているからです。どのような教育課程を編成するかは、学校における人間形成のあり方を決定する問題として、社会的にも大きな意味をもっています。

したがって、学校における人間形成のあり方が問題になるとき、必ず教育課程のあり方が問われることになります。また新しい人間像をめざしての教育実践には、必ず新しい教育課程が求められます。

まず、教育課程の本質やその意義、教育課程の歴史、教育課程の編成に関する事項などについて、テキストを使用し理解を深めたうえで、学校ではどのような教育課程が作られ展開されているのか検討します。また、現代社会の課題にこたえる人間形成のためには、どのような教育課程を編成すべきかについて、考察を深められるようにしたいと思います。

なお、インターネットを活用し、種々の情報を入手し、自学自習を深めることを期待します。テキストで扱われていないものの、理解しておく方がよいと思われる事項については、【検索】と記しておきます。文部科学省HPから検索できますので、参考になさってください。

## ■ 到達目標

政治的社会的経済的变化により教育がどのように変容したかを、学習指導要領の変遷をたどりながら明らかにすることができる。

## ■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
巻末「学習指導書」	1 教育内容論を学ぶ方のために 2 コース内容全体の解説
第1章 第1節 第2節（1）	教育課程をつくる意味 1 学校の教育活動と教育課程 2 教育課程の定義 3 顕在的カリキュラム 4 潜在的カリキュラム
第1章 第2節（2） 第3節	どのような教育観にもとづいて教育課程を編成するのか 1 教科中心教育課程 2 経験中心教育課程 3 複合的教育課程 4 コアカリキュラムの1例「郷土科」
第2章 第1節 第2節 第3節	社会の変化と教育課程 1 伝統的社会的教育課程 2 工業化社会的教育課程

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1章 第2節(3)  第2章 第3節	終戦直後の教育の民主化政策 1 明治期から終戦前までの教育課程 2 戦後教育改革と第1次・第2次学習指導要領(試案)
第2章 第3節(7) 第3章 第3節(3)	「冷戦」の激化に伴う社会的変化と教育政策の転換 1 冷戦下の社会的動向 2 占領下政策と教育の中央集権化 3 法的拘束力をもつ学習指導要領  【検索】 道徳の特設
第2章 第4節(1)	高度経済成長と学問中心的教育課程 1 科学技術教育の振興と教育課程 2 高度経済成長と教育課程 3 教育内容の現代化と第4次学習指導要領
第2章 第4節 (2)(3)	「人間化」の要請と教育課程 1 学問中心的教育課程への批判 2 脱工業化—情報化社会への進行と中教審「四六答申」 3 “人間化”の要請と第5次学習指導要領  【検索】 四六答申
第2章 第4節(4)	高度情報化社会に対応する教育課程 1 教育問題の深刻化—反生命的症候群 2 生涯学習時代の学校 3 臨教審答申と第6次学習指導要領 4 新たな課題—人間疎外 アノミー化
第3章 第1節 第2節	子どもの発達と教育内容 1 社会化と教育内容との関係 2 教科と教科外 3 教材単元と経験単元 4 教科以外の領域のもつ意義
第3章 第3節	教育内容の性質 1 教育内容を構成する4タイプの志向 2 教育内容に対する国家の関与
第4章 第1節	教育課程の編成 1 教育課程の編成主体 2 編成に関する教育法体系の一環 3 学習指導要領の法的拘束力 4 特色ある学校づくり (1) 民間人校長・副校長 (2) 学校評議員制度 (3) コミュニティ・スクール  【検索】 4(1)(2)(3)
第4章 第2節 第3節 第5章	教育課程の編成・実施・評価 1 編成における定性化と定量化 2 教育課程の実施 3 教育課程の評価 4 教育課程の改善

学習範囲 該当する章など	学習内容
第3章 第1節(3)	学力とは何かー学力向上策 1 学力のとらえ方 ー広義の学力の定義 2 新しい学力観 3 指導要録に示された評価の観点 4 学力向上策への転換 (1) 「学びのすすめ」 (2) 学習指導要領は最低基準 (3) 全国学力・学習状況調査 5 第8次学習指導要領  【検索】 4 (1) (3)

## ■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	戦後、学習指導要領はどのように変遷したか、説明できているか。さらに、その社会背景も明らかにすることができているか。
レポート	レポート第1課題 教育課程の定義を明らかにしたうえで、教育課程が学校の教育に対してどのような機能をはたしているのか、説明してください。 レポート第2課題 学力の定義を明らかにしてください。さらに、学力をめぐるどのような問題が生じているのか、具体例をとりあげて説明してください。

## ■ 評価方法

○科目試験：70%

○レポート：30%

## ■ 教科書

**書名：**教育内容論

**著者名：**熊谷一乗

**出版社名：**創大出版会

**出版年：**平14.2

**版：**改訂版

**刷：**

**ISBN：**

## ■ 参考書

牧口常三郎全集第3巻 「教授の統合中心としての郷土科研究」 第三文明社 1981年初版

## ■ 履修上のアドバイス

○教育課程の意義、編成などに関する具体的事項についてテキストを使用し理解を深めたうえで、実際に現在の学校ではどのような教育課程が作成・実施されているのか調べてみましょう。みなさまが居住している地域の学校ではどのような教育活動が行われているか、地域公開授業参観日に参加したり、学校のHPを閲覧したりするとよいでしょう。その他に、地域や学校の特色を生かした教育活動、学校選択制、中高一貫教育、小中一貫教育、職場体験活動、民間人校長、全国学力テスト、コミュニティ・スクール、土曜授業の再開などについても調べてみましょう。

○学習指導要領がどのように変遷したのかを学習します。これまで7回の改訂が行われましたが、みなさんが小・中学校のとき、どの学習指導要領による教育を受けてきたのでしょうか。ご自身の学校体験と結びつけながら、学習指導要領改訂の背景を考察してみましょう。

○公立図書館には小・中・高校用教科書を所蔵しているところもあります。また、教育委員会併設の資料室（センター）で教科書を閲覧・貸し出ししているところもあります。興味のある方は、ご覧ください。

## ■ 自習時間

---

本テキストは難解語句が多いため、学習には30時間程度は必要と思われます。

まず、巻末に掲載している「学習指導書」に目を通しましょう。この科目の概要をつかむことができます。

## ■ 担当者のプロフィール

---

牛田伸一

創価大学大学院文学研究科教育学専攻単位修得退学

博士（教育学）